



生涯学習だより③1

■お問合せ
生涯学習課(0296-72-7915)
—Life Long Learning—

※Life Long Learning=生涯学習

放課後子ども教室

放課後子ども教室は、平成19年度から、学校・地域の皆様のご協力のもと、学校施設を利用して活動をしています。1年生から6年生までの希望する児童が、さまざまな体験活動を通して、交流を深めるとともにたくさんのことを学んでいます。

遊びがゲームやカードとなりつつある現代の子どもたちにさまざまな活動の場を提供することが放課後子ども教室の趣旨です。

いずみ教室（岩間第三小学校）

おおはら教室（大原小学校）



茶道 “礼儀作法も学びます”



読み聞かせ・紙芝居



作って遊ぶ“ブンブンこま”



“ケーキずし”をつくる

地域のボランティアのみなさんには、体験活動が子どもたちの健やかな成長につながるようにと、子どもたちとのふれあいを大切にしながら、趣味や特技をいかして活動していただいています。

《放課後子ども教室に関する問い合わせ》笠間市教育委員会 生涯学習課

笠間公民館1Fふれあいルーム Tel0296 (72) 7915

市長のつらみ

「感謝」と「支え」

東日本大震災より早くも2か月が過ぎました。地震直後、私は本所駐車場においてハンドマイクを持ち、最初に職員に指示したことは、被害状況の調査であります。まずは、状況を把握することにより次の指示を出す必要があると考えたからです。

その後さまざまな緊急対応をするにより、一定の期間で平常に近い生活に戻ることができました。これは、多くの方々の支えと市民の皆さまの冷静な対応であったからこそと思っております。

避難所の炊き出し、給水ボランティア、物資の差し入れ、義援金、消防団、J Aや社会福祉協議会をはじめ建設、管、電気工事、衛生業者、地元のスパー、ホームセンター、ガソリンスタンド、学校等々、多くの方々にご協力、ご支援をいただき、未曾有の震災に対応することができました。皆様に心から「感謝」を申し上げます。そして、職員も十分な役割を果たしたくれたと思っています。

自然災害の緊急時に、行政（公助）が速やかに全てに対応することの難しさを感じました。一方で共に支え合い（共助）、自らの責任（自助）において対応していくことにより、難題を解

決できることを経験しました。共に支え合い、取り組むことの重要性を強く感じた災害でありました。

今後、安心安全な社会を築く上で、地域での助け合い、支えあうための組織の一つとして自主防災組織の役割が重要であると思います。笠間においては、組織率が平成22年度末で13・16%であります。今後、行政区を中心に結成していただき、防災の要としての活動を期待しております。市としても組織の結成、備品の整備について積極的な支援をまいります。災害においては一番学んだことは、「支え合い、助け合う」ことです。



愛宕杯ゲートボール大会にて（4/16）

笠間市長
山口伸樹